

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市八本松児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 21,568人 (前年度比 91.2%) 平成29年度 23,656人 平成28年度 24,505人 平成27年度 23,206人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 34,391千円 (39,076千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
		()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	リーフレットや児童館だより、初めての利用者を対象とした冊子の発行、ブログの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、毎月1回発行の児童クラブ通信や連絡、迎えの際のやりとり等を通して、子どもの生活や遊びの様子を保護者に伝え、子どもの状況について保護者と情報を共有している。また、親子や保護者同士の交流の場となる「夕涼み会」「わくわくパーティー」「お別れ会」を保護者会と共催で実施するなど、保護者との協力関係を構築している。	18/18

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（ 特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘 ）による自己評価》	
<p>仙台市の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針に沿いながら、『地域でつながる・あそびでつながる児童館』を目指して、様々な活動に取り組んだ1年であった。</p> <p>○健全育成事業 地域における居場所となれるような環境づくりを目指し様々な活動を行った。どんどこプロジェクトの助成金を活用し『八本松プレイパーク』を実施。子どもたちの遊びを大人が再認識する中で、子どもたちがデジタルゲームではなく人と人が実体験を通して関わり合える遊びをプレイワーカーと行った。中高生に関しては、バスケットゴールの活用により、児童クラブの先輩が小学生に対して教えてくれる姿が自然にあり、異年齢児の関わりが多く見られた。</p> <p>○子育て支援事業 幼児クラブでは『親と子のつながりの場』を意識し、同年齢の活動を通して仲間づくりもできた。午前の行事を通して乳幼児親子がホッとできる場所を提供。乳幼児親子の居場所づくりや横のつながりづくりを積極的に行った。</p> <p>○地域交流事業 市民センターと保育園との3館共催コンサートも4年目となり、様々な年齢を対象とした施設が連携する活動が定着しつつある。秋には、向山高校茶道部の協力を得たお茶会で地域の方々楽しんでいただき、「子どもの声で賑やかな児童館が、いつもと違っていいね」とのお言葉を頂くことができた。毎年恒例となっている子育て支援クラブはちちの餅つき会を地域の方々で行うなど、地域とのつながりを充実させることができた。</p> <p>○放課後児童クラブ 年々登録児童が増加しているが、子どもが主体的に活動できるよう日々子どもの声に耳を傾け、子どもたちが“居なければいけない場所”ではなく“居たい場所”になれるよう、子どもを真ん中に置いた活動ができるよう工夫した。聴覚支援学校の児童を受け入れており、障がいに対する理解を遊びを通して深めることができた。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>地域組織・団体・住民等と連携し、相互交流を図りながら「あそびでつながる、地域でつながる児童館」を目指し、児童館運営に取り組んでいる。</p> <p>健全育成事業では、保育園、市民センターと共催した「スマイルコンサート」や聴覚支援学校の協力を得た「手話を学ぼう」、夏休みの「防災キャンプ ダンボールハウスに泊まろう」等、地域の特色を生かした多様な行事を行っている。平成30年度は、新たに、隣接する八本松公園を活用した「八本松プレイパーク」を開催し、金づちやのこぎりをを使った遊び道具作り、木登りや丸太切り等の体験活動を行うとともに、職員を対象とした「遊び」の研修会を実施するなど、子どもたちの「遊びの再発見」活動に積極的に取り組んでおり、評価できる。</p> <p>子育て支援事業では、年齢別の幼児クラブや自由参加の「おはなし会」「ばれっとひろば」「ほっとサロン」を定期的実施しているほか、子育て支援クラブ主催の季節に応じた行事も多く、子育て支援のプログラムが充実している。「ほっとサロン」は、お茶を飲みながら子育てについての情報共有を行うなど、参加者同士の交流の場となっている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室